

自由民主党福島県議会議員会
会長 渡辺 義信 様

飯舘村の復興・再生に向けた要望書

令和8年5月29日

福島県相馬郡飯舘村長 杉岡 誠



[移動政調会における要望①]

自治体名	飯舘村
要望事項	森林の適正整備及び資源回復について
要望事項における現状・背景等	<p>原発事故により、帰還困難区域のみならず、飯舘村の全体面積230.13km²の75%を占める森林が広範囲に汚染されたままとなっており、森林整備や林業生産活動等に多大な影響が生じております。</p> <p>また、支障木や雑草等の繁茂により、道路の排水溝の埋没や、枝葉が作る日陰による路面凍結が発生しております。さらに、藪などが鳥獣の隠れ家となることでその行動域が拡大し、農地等が深刻な獣害を受けている状況にあります。</p> <p>森林再生事業等を着実に、かつ柔軟に進め、森林の多面的機能を回復させるとともに、森林資源の活用やなりわいの回復に総力を挙げて取り組むことが必要です。</p>
要望の内容	<p>①森林再生に向けて、「ふくしま森林再生事業」や「広葉樹林再生事業」、「里山再生事業」などの支援を継続するよう国に強く要請すること。</p> <p>②支障木や雑草の除去、獣害対策、集落との間の緩衝帯整備など、早急に必要な対策を行うこと。</p> <p>③住民が安心して帰還し生活できるよう森林整備が円滑かつ早急に進捗する必要があることから、事業実施にあたっては、効率的かつ柔軟な対応を行うよう特段の配慮を要望する。</p>
連絡先	(要請元のご担当者・電話番号等)

[移動政調会における要望②]

自治体名	飯舘村
要望事項	福島県営農再開支援事業の継続及び財源の確保について
要望事項における現状・背景等	<p>飯舘村では、東日本大震災に伴い発生した原発事故の影響により、農産物生産の中止を余儀なくされた農地について、営農再開に向けて当該事業を活用し、震災以降増加している鳥獣被害の対策や保全管理、管理耕作等に取り組んでいるところです。</p> <p>しかしながら、地域によっては基盤整備の完了に5年以上の期間を要すること、また担い手の高齢化や帰還が十分でない状況にあるなど、営農再開の推進に向けては、継続的な取組が必要となっております。</p>
要望の内容	<p>①福島県営農再開支援事業について、令和9年度以降も縮小することなく継続するとともに十分な財源を確保するよう国に強く要請すること。</p> <p>②とりわけ、避難からすぐに帰還しない農家の農地を維持管理する担い手への支援や、営農再開準備への支援などの県知事特認事業についても縮小することなく継続すること。</p>
連絡先	(要請元のご担当者・電話番号等)

[移動政調会における要望③]

自治体名	飯舘村
要望事項	国県道の改良整備推進について
要望事項における現状・背景等	飯舘村では、企業誘致を重点施策として進めているため、確実な交通インフラを整備することによる、商工業の活性化及び雇用の場の確保が必要である。また、自動車交通が唯一の交通手段であり、近隣市町村から飯舘村へのアクセスや拠点間を結ぶ路線として、重要な路線となっているが、未整備区間は狭隘、曲折が甚だしいため、安心安全な通行の確保が急務である。
要望の内容	第3期復興・創生期間に進めることとしている下記インフラ整備については、東北中央自動車道霊山飯舘ICへのアクセス強化が不可欠であることに加え、近隣市町村から飯舘村へのアクセスや拠点間を結ぶ路線として重要な役割を果たしていることから、早期に供用開始できるよう取り組むこと。 ・国道399号線 ・原町二本松線 ・浪江国見線
連絡先	(要請元のご担当者・電話番号等)